

新年のご挨拶

マツダエース協力会
会長 藤井 隆

(有限会社日東ベンディング中国 代表取締役社長)



明けましておめでとうございます。皆様には、2024年の新年をさわやかに迎えのこととお慶び申し上げます。昨年も皆様からお力添えをいただき、マツダエース協力会の会長としての役目を果たすことができました。本年はさらに会員皆様方の親睦をより深め、相互に発展できますよう努めていきたいと思っております。今後一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2023年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、G7サミットが広島市で開催されました。協力会活動においても6月の定時総会を岡山県美作市で2018年以來5年振りに宿泊で開催し、コロナ禍による人数制限を撤廃した久々の大宴会で盛り上がりました。その後の7月野球観戦、10月ゴルフコンペでも多くの会員様にご参加いただき、親睦を深める場を設けられたことを大変嬉しく思っております。

マツダ車拡販の状況ですが、ラージ商品群第一弾である直列6気筒エンジンを搭載したFR駆動のCX-60が好調で、昨年度は651台(マイカー307台・業務用車344台)のご協力に感謝いたします。本年度の拡販活動は残り少ないですが、皆様のご尽力により、昨年度を上回る実績になることを期待します。

また、昨年の10月に開催されました「ジャパンモビリティショー2023」において「MAZDA ICONIC SP」が世界初公開され、2ローターRotary-EVシステムとなる次世代スポーツカーに注目が集まり、近い将来の発売を心待ちにしている方が大勢おられるのではと思っています。今後のラージ商品群の充実を含めて、これからの動向に目が離せません。

最後になりましたが、マツダエース協力会の活動が会員各位の親睦を深める場として、益々活発になること、加えて皆様方、ご家族、社員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで年頭の祝詞を申し上げます
本年も幸多き年でありますよう心からお祈り申し上げます

	監査								理事	会計		副会長	顧問
坂本和久	児玉勝好	田辺和広	森下康浩	中島和雄	島田泰実	大野徹	出口浩行	土橋忠弘	新井宏	榎岡達也	西山郁也	中吉雄二	小川嘉彦
(株)タカキペーパー	ダイコーフーズ(株)	ミドリ安全南広島(株)	三井食品(株)	広島駅弁当(株)	(株)島田鉄工所	(株)大野石油店	(株)エディオン法人営業部	(株)一誠	(株)アステイ	(株)こっこー	TOPPAN(株)	中吉エンジニアリング(株)	(株)いとや

新年のご挨拶

マツダエース株式会社

代表取締役社長 埜森 敦己



明けましておめでとうございます。マツダエース協力会会員の皆様におかれましては、ご家族の皆様とご一緒にお健やかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中は皆様方より多大なるご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。昨年は新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、5年振りに岡山県美作市で開催された宿泊での「総会」に出席させていただきました。懇親会ではコロナ禍による人数制限がなくなり、皆様方からの貴重な情報やご意見を賜ることができました。「ゴルフコンペとミーティング」は残念ながらスケジュール調整できず、誠に申し訳なく存じます。代わりに小田専務が中心となって、今後の活動で参考にさせてもらえる情報を収集させていただきました。本年もマツダエース協力を会員様同士の交流・情報交換の場としてご活用いただけるよう、出来る限り努力をして参りますので、引き続き、ご支援のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、昨年のマツダを振り返りますと、第2四半期累計での生産台数は対前年18%増の59万3000台、グローバル販売台数は同20%増の61万6000台で、いずれも前年を上回る水準です。マツダは、先般、2024年3月期の実績見通しを発表しました。2024年3月期の通期見通しでは、北米市場を中心とした出荷台数の増加や販売単価の改善及び為替変動などを踏まえて、グローバル販売台数を前年から17万6千台増の128万6000台に上方修正し、財務指標でもすべての項目が前年アップで、売上高は5月公表値から3000億円増の4兆8000億円、営業利益は同450億円増の2500億円、経常利益は同820億円増の2540億円、当期純利益は同400億円増の1700億円としています。全ての利益項目で過去最高益となる見込みです。

昨年は約11年振りとなるロータリーエンジンが復活し、MX-30 Rotary-EVの受注を開始し、ロータリーエンジン搭載車の累計生産台数が200万台に達しました。また、ロータリーエンジン搭載「マツダ787B」が、「2023日本自動車殿堂歴史遺産車」に選定されました。マツダ車が「日本自動車殿堂 歴史遺産車」に選定されたのは、2003年のコスモスポーツ、2019年の初代ロードスターに続いて、今回が3回目となります。「日本自動車殿堂 歴史遺産車」とは、日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し、日本自動車殿堂に登録し、永く伝承するものです。マツダ787Bは「世界最高峰の耐久レースであるルマン24時間レースで、純国産車及びロータリーエンジン車として初の総合優勝」、「“飽くなき挑戦”を続け日本の技術を世界に知らしめた」ことが評価されました。

最後に、会員企業様の益々のご発展と、皆様方のご健勝を祈念して、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
本年も相変わらずご愛顧のほどお願ひ申し上げます。

ブランドテクノロジー本部長

平林 明博

ブランドサポート本部長

鏑分 秀和

警備防災本部長

作岡 高史

経営戦略室室長

高松 美裕

執行役員
情報技術サービス本部長

天満 昇

執行役員
ライフサポート本部長

西本 武生

執行役員
業務本部長

上神 政也

執行役員

濱田 直之

取締役執行役員

市川 真治

取締役執行役員

亀水 直哉

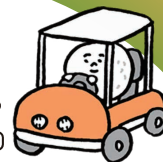
取締役常務執行役員

中谷 昭二郎

取締役専務執行役員

小田 佳郎

第20回 マツダエース協力会 ゴルフコンペ・ミーティング



10月20日(金)、第20回マツダエース協力会ゴルフコンペを広島カンツリー倶楽部で開催し、総勢55名(会員様:41名、マツダエース:14名)が参加されました。朝から曇り空で途中、にわか雨が降るコンディションとなりましたが、ゴルフを楽しんでいただきました。

プレー終了後はホテルグランヴィア広島に場所を移し、藤井会長からのご挨拶、児玉監査による乾杯の音頭でミーティングが始まりました。ここ数年はコロナ禍で開催規模を縮小していましたが、今年はミーティングからの参加も可能とし、たくさんの方にご出席いただきました。

順位賞と特別賞の表彰では、優勝の前田様へインタビューがあり、喜びのメッセージに拍手喝采で祝福されました。その後、4年振りに復活した抽選会では12社の理事から景品提供いただき、当選者が発表されるたびに盛り上がりました。

交流を深めることができた一日となり、森下理事による中締めでイベントが終了しました。ご参加された皆様、お疲れのところ最後までお付き合いいただきありがとうございました。

総合順位 (敬称略)

1位	前田 良	マツダオートリース(株)
2位	水 澄 耕 造	ムサシ電機(株)
3位	山 岡 泰 久	(株)中島商会
4位	藤 山 裕 和	(株)キリンビバックス
5位	山 本 慎 太 郎	山本食品(株)

特別賞 (敬称略)

バスグロ			水 澄 耕 造	ムサシ電機(株)
ニアピン	OUT グループ	8番	前 田 良	マツダオートリース(株)
		13番	山 本 慎 太 郎	山本食品(株)
	IN グループ	8番	藤 山 裕 和	(株)キリンビバックス
		13番	藤 原 雄 基	新物流サービス(株)
ドラコン	OUT グループ	9番	三 輪 安 志	サントリービレッジソリューション(株)
		12番	山 本 慎 太 郎	山本食品(株)
	IN グループ	9番	道 垣 内 文 夫	(株)ドーゴーチ
		12番	江 本 泰 司	三光電業(株)



ゴルフ優勝 前田様



挨拶 藤井会長



中締め 森下様



乾杯 児玉監査



会 員 情 報

●社名変更 (1社)

マツダエース協力会HP

(2023年4月1日以降11月末現在)

新会社名	旧会社名
TOPPAN(株)	凸版印刷(株)

<https://www.mazdaace.co.jp/company/cooperation.html>

マツダ車拡販のお願い

日頃より会員各社様には、マツダ車の販売へのご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
マツダ車拡販状況は2023年11月末時点で、356台と前年同等のペースで推移しており、皆様のご協力に感謝いたします。本年度も残すところ3か月となりましたが、昨年実績を上回るよう、引き続きご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

来年度の定時総会にて拡販表彰(マイカー表彰・業務用車表彰・従業員比率表彰)を予定していますので、結果のご報告までしばらくお待ちください。

さて、昨年のマツダ車は、MAZDA2・MAZDA3・CX-3・CX-5・CX-30・MX-30・ロードスター・フレア・キャロルで商品改良(一部改良を含む)がありました。中でも「MX-30 e-SKYACTIV R-EV」は、バッテリーEV走行とロータリーエンジンの発電によるEV走行で、長距離ドライブに対応したプラグインハイブリッドとなっています。ロータリーエンジンの搭載車としては、2012年6月の「マツダRX-8」の量産終了以来約11年振りです。MX-30は、マツダ初の量産バッテリーEVとして2020年に導入後、マイルドハイブリッドモデル、そして今回のプラグインハイブリッドモデルがラインアップに加わり、カーボンニュートラルの実現に向けた車種となっておりますので、他の車種と合わせてご購入を検討ください。

尚、「お得意先様マイカーご成約特典」がありますので、マツダ車のご商談・ご注文時にご購入店舗のスタッフへお申込書をご提出ください。

※ご提出がないと、お申込資格は失効となりますので、ご注意ください。

対象者 協力会会員会社の従業員様とその同居のご親族(配偶者、子供、両親または兄弟姉妹、等)

対象車種 マツダ(株)が取り扱う新車で、個人名義での登録/届出された乗用車であること。
(※業務用車は特典の対象外となりますが、拡販表彰では実績台数となります)
マツダ系、マツダアンフィニ系およびマツダオートザム系でご購入いただいた車両が対象です。

乗用車： MAZDA2、MAZDA3、MAZDA6、CX-3、CX-30、CX-5、CX-8、CX-60、MX-30、ロードスター
軽乗用車： フレア、フレアワゴン、フレアクロスオーバー、キャロル、スクラムワゴン



MAZDA MX-30